

入場無料
是非ご参加下さい

琵琶湖がつなぐ 人と生きものたち

市民による生物多様性の保全と地域社会の実現をめざして

近江の海夕波千鳥汝が鳴けば心もののに古思ほゆ

- 2017年**10月5日(木)** 12:30~18:00
- びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海 8~10

滋賀県大津市におの浜 4-7-7 TEL:077-521-1111

手話通訳があります

母なる琵琶湖を

健全な姿で次世代につなぐため
いっしょに考えてみませんか！

第Ⅰ部 講演と対談

滋賀県知事 三日月大造氏

びわこ成蹊スポーツ大学教授 西野麻知子氏

第Ⅱ部 パネルディスカッション

パネリスト

筑波大学大学院人間総合科学研究科教授（日本自然保護協会専務理事）吉田正人氏

大阪大学大学院法学研究科教授 大久保規子氏

元国交省近畿地方整備局淀川河川事務所長（元淀川水系流域委員会委員長）宮本博司氏



子どものころトンボを取って遊んだ沼が埋め立てられちゃうってほんと？

この土地の自然が好きで移り住んだのに、今さら宅地開発だって？

あなた

市民の手で、身近な自然を守りませんか

- 業者が出入りして何か開発計画が持ち上がっているようだけれど、詳細はどこでわかるの？
- 身近な自然といっても、身近過ぎて、いったいどんな生きものがいるのか分からない・・・。
- 計画が決まってしまったらもう手遅れなのでは？ 市民の出番はどこにあるの？
- 裁判で守ることはできるの？
- 実際、身近な自然なんて残しておいて、何かいいことあるの？ 宅地化すれば若い世代が移り住んで、町が活性化されるのでは？

ぜひ当日会場に直接お越しください
(事前申込み不要)。
途中参加・途中退席自由。

シンポジウム

「琵琶湖がつなぐ人と生きものたち」開催

○開催地は、これまでに「石けん運動」を始めた皆さんの市民による保全活動が行われてきた琵琶湖。第Ⅰ部では、その琵琶湖をテーマに、市民によるトチノキの保存や魚のゆりかご水田などの活動報告を交えながら、滋賀県知事の三日月大造氏と琵琶湖の自然を研究してきた西野麻知子氏が対談します。

○第Ⅱ部では、「どうしたら身近な自然を守ることができるか」をテーマに、市民に何ができるか、何をしなければいけないか、またそのために必要な法制度は？といった問題を、日弁連が選んだその道の専門家がパネルディスカッション形式で考えていきます。市民活動が成功した事例・失敗した事例から学び、またドイツの自然保護（ミティゲーション制度）、再生可能エネルギー普及への市民参加の事例もご紹介します。

アルプスの山々を望む人口 2500 人ほどの小さな村で、村のエネルギー需要の 688%を市民が創

【プログラム（予定）】

- | | | | |
|-------|------|-------|-------------|
| 12:30 | 開会挨拶 | 14:40 | 第Ⅱ部（途中休憩あり） |
| 12:40 | 第Ⅰ部 | 17:55 | 閉会挨拶 |
| 14:20 | 休憩 | | |

※ご希望の方には、当日会場にて、基調報告書を 1 部 2000 円にて販売いたします。

日程・会場・参加パネリスト等の詳細は表面へ